

# 地球温暖化防止 「コープしがCO<sub>2</sub> (温室効果ガス)」削減 の取り組み

コープしがでは、持続可能な社会の実現に向けて、地球温暖化防止の取り組みをすすめています。  
滋賀県の世帯数の約30% (14.4万人) が加入する組織の果たす役割を踏まえ、組合員が生協の事業や活動に参加することで地球温暖化防止や滋賀の環境保全活動に関わる取り組みをすすめています。また9月第1土曜を「コープしがびわ湖の日」とし大津市などでのびわ湖清掃活動を行っています。  
温室効果ガス削減を中心とした「新たな環境政策」の策定に取り組み、この政策に基づき太陽光発電や省エネ機器を導入した、環境推進モデル事業所の設置や、BDF燃料の導入推進、排出物の更なる削減などを計画的に進めることとしています。

CSR推進チーム 須戸リーダー

## 家族みんなで1日エコライフ

家族みんなで1日エコライフに取り組む活動は、毎年多くの組合員が参加する活動となって広がっています。今年度は7と8月に6,786家族がCO<sub>2</sub>削減に取り組み、368.3kgの削減となりました。



## 環境商品の普及

農産物や生活用品など環境配慮商品の普及活動を広報誌スパイラルなどで情報提供をすすめています。店舗では6月と10月に年2回の洗剤キャンペーンに取り組んでいます。



環境商品：トイレトーパー

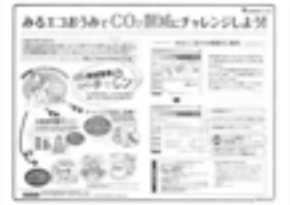


環境商品：環境こだわり米

## 「みるエコおうち」

滋賀県は2030年に向けてCO<sub>2</sub>削減50%を目標に低炭素社会の実現をめざしています。

「みるエコおうち」は日常生活での省エネ・省資源行動や電気・ガスの使用量などをインターネット上で記録することにより、家庭でのCO<sub>2</sub>削減の「見える化」を図り、一層の取組への意欲へとつなげていただけるよう、2008年11月より滋賀県が提供しているWEBサイトです。



コープしがでは現在、組合員や役員など90家族が登録しCO<sub>2</sub>削減チャレンジに取り組んでいます。  
<http://www.biwaco2.jp/>



## マイバック持参運動

コープしがでは、「地球環境のためにできることはお買い物から考えよう」とマイバック持参運動に継続して取り組んでいます。

レジ袋は1枚5円の有料化として、2010年度は全店舗で95%と非常に高い持参率となっています。

レジ袋代金は、店頭のリサイクルBOXの購入など環境活動の費用にあてています。



コープぜぜ リサイクルBOX

## 2010年度COOP洗剤環境活動寄付金

日本生協連と㈱コープクリーンとともに、コープしがでは5月～10月までの期間、セフターE、セフター漂白剤入、液体おぞらなどの各アイテム1個につき2円、利用実績67,657点、135,314円の寄付金を財団法人オイスカ「子どもの森」計画に寄付しました。



セフターE



液体おぞら



豊かな湖づくりフェスティバル2010



「コープしがびわ湖の日」大津市清掃ウォーク



「コープしがびわ湖の日」近江八幡市宮ヶ浜地引き網&清掃

# 持続可能な社会の実現に向けて 事業と活動を通じた環境保全活動

## 琵琶湖の環境を守る「ヨシ刈り」

びわ湖のヨシは、魚の産卵の場となり、野鳥の生息地ともなります。また、水質の浄化作用などいろいろな働きがあります。そのヨシを冬に刈り取ることでまた立派なヨシが生えてきます。コープしがは地域の団体と一緒にヨシ刈りボランティアに参加しています。

また、役職員の名刺にヨシを原料としたものが選べるようにしています。



コープしが 西の湖ヨシ刈りボランティア



ヨシでびわ湖を守るネットワーク (東近江市伊庭内湖ヨシ刈り)



## 環境事業積立金の活用

2007年度から毎年の剰余金の中から「環境事業積立金」を積み立てています。環境保全活動や施設の省エネ設備の導入などに継続して取り組んでいくための資金として活用していきます。

## ペットボトルキャップ回収から「HANA-WA プロジェクト」へ

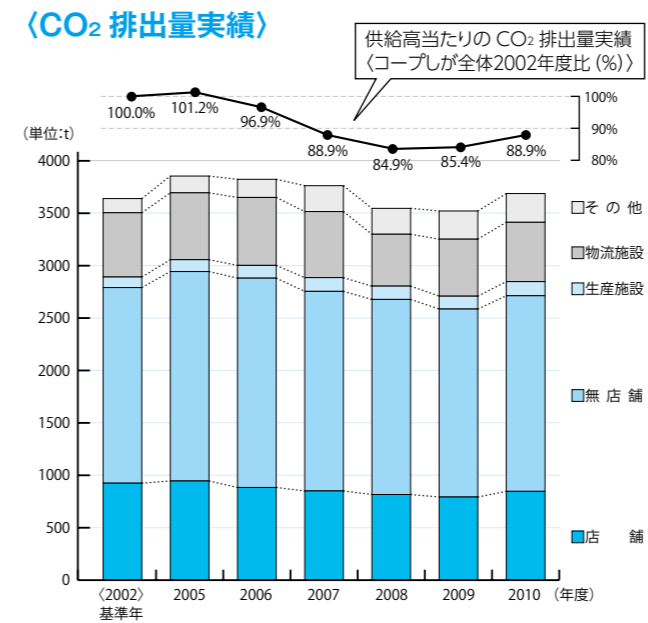
店舗でペットボトルキャップを回収して、共同作業所に届けリサイクルする取り組み「ペットボトルキャップリサイクル事業プロジェクト (PCR)」に参加してきました。2011年度よりこのキャップを原料として作られたリサイクルプラントに、共同作業所で花を植えて、企業に届ける取り組み「HANA-WA プロジェクト」に参加することとしました。



共同作業所に設置してもらったプランタ

## 温室効果ガス (CO<sub>2</sub>) 削減の取り組み

地球温暖化防止の取り組みとしてCO<sub>2</sub>削減を、日本生協連の指針に基づき自主計画を策定して取り組んでいます。2010年度までは2002年度を基準年として、供給高1億円当たりの排出量で評価しており、2010年度は猛暑の影響で14.6トン/億円と前年より増加しましたが、2002年度比では88.9%に削減となっています。今後、「新たな環境政策」に基づき2020年に向けてCO<sub>2</sub>の総量削減に取り組んで行く計画です。



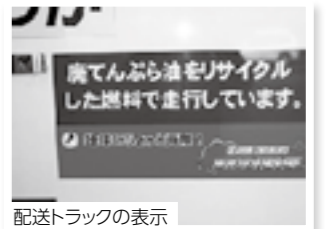
## 廃食油リサイクルとバイオ燃料 (BDF) の導入

2008年よりコープぜぜの惣菜コーナーから出る廃食油をバイオ燃料にリサイクルする取り組みを開始し、現在センターステーションなど4カ所でも回収しています。

この廃食油から作られたバイオ燃料 (BDF) 5%配合の軽油を、愛知川・彦根センターの配送トラックに給油して、CO<sub>2</sub>削減の取り組みを行っています。2010年度のBDF給油によるCO<sub>2</sub>削減は3,760kgとなりました。



コープぜぜ廃食油置き場



配送トラックの表示



愛知川センターでのBDF燃料給油

理念と運営体制

食の安全

地域貢献

組合員の活動

環境保全

事業内容



# 商品案内書や卵パック、ペットボトルなどの再資源化リサイクルの取り組み

コープしがでは、環境マネジメント方針にもとづいて、持続可能な循環型社会を目指すため、事業や活動で排出する廃棄物を資源リサイクルすることにより、環境への負荷の軽減を図っています。

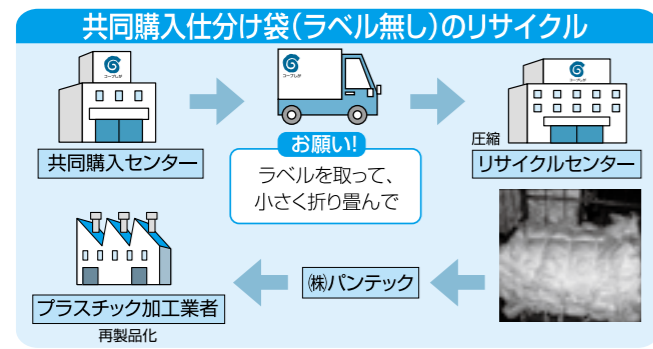
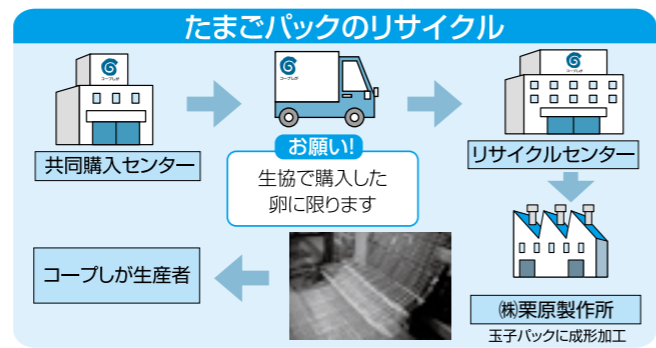
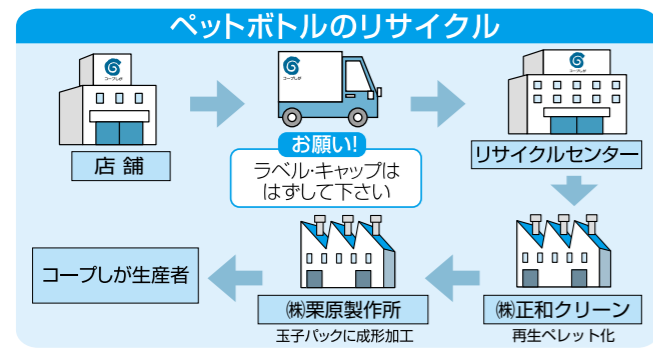
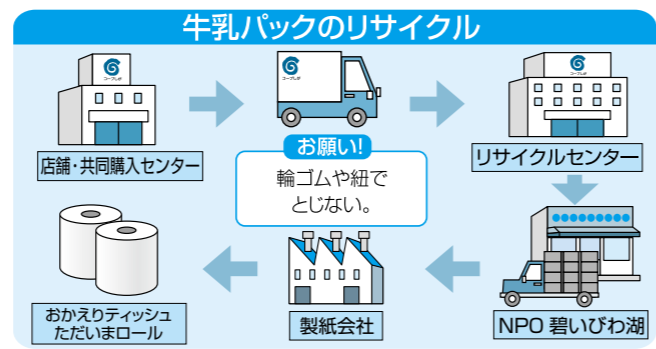
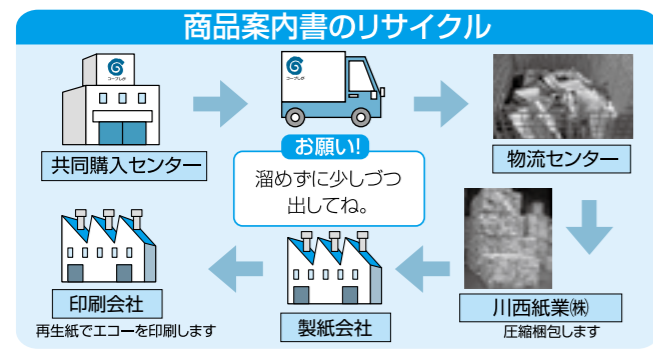
各事業所から排出、組合員から回収したリサイクル資源は、主にコープしがリサイクルセンターに集約され、圧縮処理などを行って、リサイクル業者に引き渡し、再生原料として活用されています。店舗の生ゴミなどの事業系廃棄物は、廃棄物処理業者によって飼料等へ再資源化を行っています。

リサイクルセンター 須戸センター長

リサイクルの実績は、組合員には広報誌「スパイラル」で情報提供し、店舗ではリサイクルBOXにリサイクル状況やお買い物袋持参率を掲示しています。



## リサイクルの流れ



**用語解説**

【サマーリサイクル】 廃プラスチックを固形燃料などに加工または破碎して直接燃焼させることによりエネルギーを回収する方法。そして、回収されたエネルギーを、発電や冷暖房及び工場などの熱源として利用すること。

【マテリアルリサイクル】 使用済みのプラスチックを細かく破碎したうえで溶かすなどして、もう一度プラスチック製品に再生し、利用すること。

【グリーン購入】 商品やサービスを購入する際に必要性をよく考え、価格や品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入すること。

# ISO14001 環境マネジメントシステムによる継続的改善

コープしがが発足した1993年第1回総代会の特別決議で「環境元年宣言」を行い、琵琶湖を擁する滋賀県の自然環境保全を積極的に取り組むことを社会へ宣言しました。1995年には、環境マネジメントの自主管理をスタートさせ、1999年にISO14001の認証を取得しました。

## 「環境元年宣言」

私たちは、自らの暮らしを守るため70年代より食の安全性を求める運動起点として今日まで活動を続けてきました。また琵琶湖を擁する滋賀県の生活者として、石けん運動をはじめとした水環境を守る運動にいち早く取り組み、全国に於いても環境活動の先駆者的役割を果たしてきました。しかし、環境問題は今や総合的視野に立って取り組むことが求められています。

こうした中、昨年20年ぶりに国連環境開発会議（地球サミット）が開催され、環境問題に対する国際協調は深まりつつあります。今、地球規模ですむ環境破壊に対して、私たち地域生活者が環境問題を自らの課題として考え、行動することが求められています。生活協同組合コープしがの出発にあたり私たちは、環境問題を正しく認識し、21世紀に向けた以下のような活動に積極的に取り組みます。

- 「環境にやさしい」視点で私たちの運動・事業を見直す活動を推進します。また、環境監査制度の導入に向けた活動を推進します。
- 琵琶湖を擁する滋賀県の生活協同組合として、自然環境の蘇生に向けた活動をあらゆる角度から考え、行動します。
- 環境問題を学習や活動を通して、私たちの問題として再認識し、次代を担う世代に残せる自然環境を守る活動を推進します。

以上、「生活協同組合コープしが環境元年」を宣言します。

1993年5月17日  
第1回生活協同組合コープしが通常総代会



2010年度 ISO サーベランス審査

## コープしが環境マネジメント方針

### 【事業運営理念】

世界的な気候変動が顕在化する中、その影響は私たちの琵琶湖にも確実に現れつつあります。コープしがは、事業活動を媒介として行う環境対策を様々な角度から「科学的視点」を持って追求し、着実に実践します。

組合員・取引先と協力して、持続可能な生産と消費を橋渡しすることを事業運営の重要課題とします。

- ISO14001の要求事項に適合した環境マネジメントシステムを維持し、継続的に改善します。
- 関連する法規制・利害関係者との協定事項及び組織が認めたその他の要求事項を順守します。
- 事業活動及び商品・サービスの供給において、環境に与える影響を考慮し、事業者としての役割と責任を果たすと共に、様々な団体との連携・協力を強め、資源・エネルギーの循環を妨げない環境調和型社会の実現に向けて活動をすすめます。

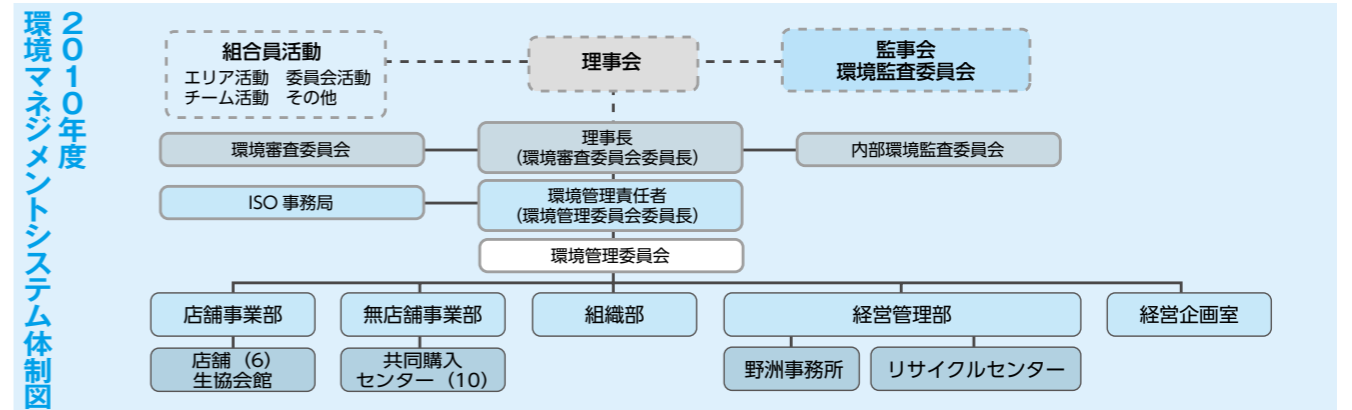
### 【行動指針】

- コープしがが取り扱う商品とサービスの環境影響の把握に努め、環境への配慮を徹底します。
- 廃棄物の削減、省資源、省エネルギー、資源リサイクルの仕組みを維持し、自然の物質・エネルギーサイクルと調和した循環社会を目指します。
- 排気ガスによる大気汚染や、限られた地下資源の浪費を防ぐため、アイドリングストップ運動に取り組み、環境負荷がより少ない車両の導入をはかります。
- 琵琶湖が中心にある湖国しがの自然環境と人々の暮らしを守るエコライフの取り組みを、地域の人たちと協力しあう組合員の「くらしの見直し活動」を通して推進します。
- 事業活動に伴うCO<sub>2</sub>の排出抑制を全国的に提案する日本生活協同組合連合会の呼びかけに応じて、コープしがの「自主行動計画」を策定し、限りある地下資源の浪費を抑制する環境活動の指標とします。

### 【環境マネジメントシステムの継続的改善】

- 担当役員を責任者とする環境マネジメントシステムを確立し、事業活動に伴う環境負荷の低減に向けたシステムの見直しと改善を、計画的、組織的、継続的に進めます。
- 環境マネジメントシステムをコープしがの社会的責任経営の柱として、コープしがの理念や方針を職員に周知徹底し、職員の環境意識向上に努めるとともに、日常の業務を通じて環境保全に取り組みます。
- この環境マネジメント方針とコープしがの環境マネジメントの成果は、組合員と地域の人たちに公開し、行政や地域の諸団体と協力して、地球環境の保全に貢献します。

2008年3月11日 生活協同組合コープしが  
理事長 西山 実



理念と運営体制

食の安全

地域貢献

組合員の活動

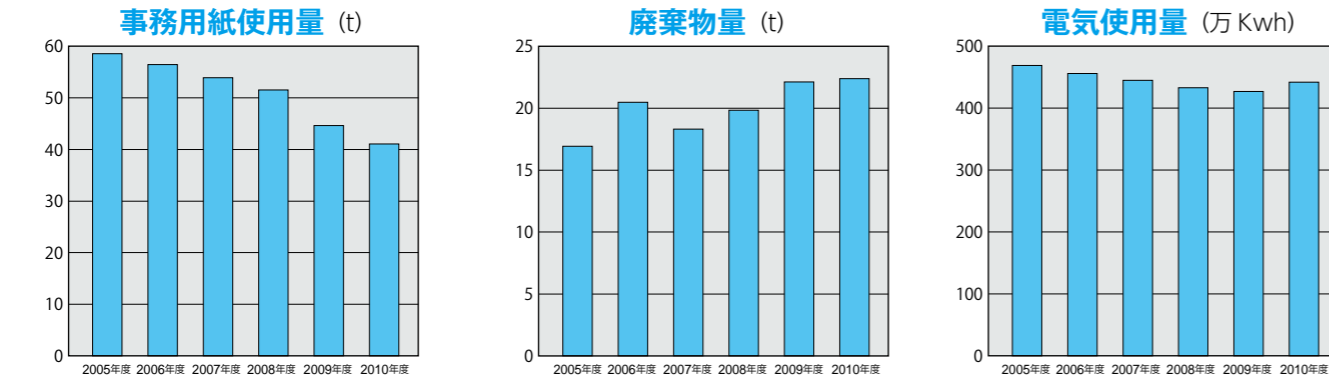
環境保全

事業内容

# 2010 年度環境活動の実績

## 資源・エネルギー・廃棄物削減の取り組み

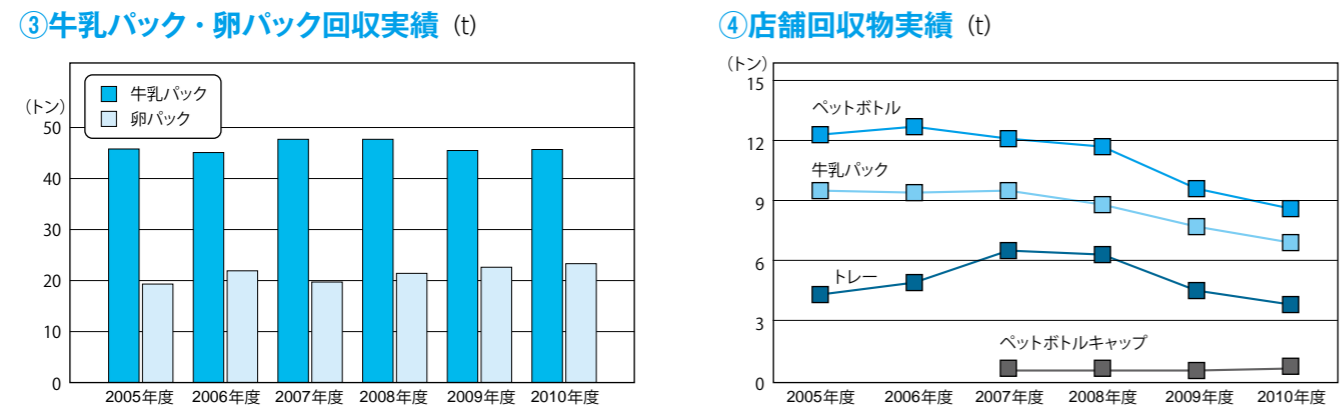
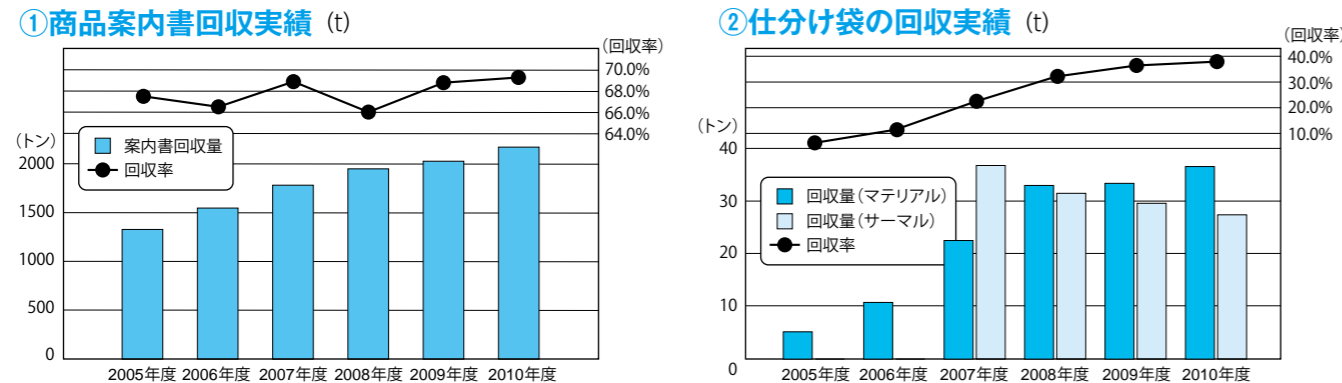
事務用紙は配布物の整理や両面使用の徹底などで削減が進みました。また、古紙を70%配合したグリーン購入法適合品への切り替えをすすめています。廃棄物は、分別管理の強化や生ゴミの飼料へのリサイクルなどで、店舗からの排出量は削減となりましたが、無店舗事業所からの排出量が増え全体で若干増加しました。電気使用量は、猛暑の影響でエアコンや冷凍冷蔵庫稼働が増え、ほとんどの事業所で計画を上回りました。



## リサイクルの実績

コープしがは、各事業所からの排出物の分別リサイクルと、組合員に供給した商品の包装材などの回収・リサイクルに取り組んでいます。2010年度の案内書回収率は69.3%（前年比+0.5%）、仕分け袋回収率は37.9%（前年比+1.5%）と年々向上してきており、組合員さんのご協力のおかげです。これらは、それぞれ資源として売却しています。

※回収物（サーマル）は、ラベルが付いたままの仕分け袋や、事業所で発生するPPバンドなどの物流資材などで、材質が混在しているため処理用を払って圧縮固化して製紙会社などの燃料に使用されます。



## 著しい環境側面に関する外部コミュニケーション

2010年9月に配送中の車両から燃料が漏れる事故がありました。消防署や行政からの指示に従い適切に処理しました。なお、この件からマニュアルの手順を一部改訂しました。

# 2010 年度環境マネジメントプログラムの結果

2010年度の環境目的目標として、事務用紙・廃棄物・電気は前年度実績の維持を基本とし運用管理します。また、コープしがの事業活動において、各部署・事業所で本来業務と関連づけて環境に関わる目標を設定し、環境マネジメントプログラムとして進捗管理しています。2010年度は23の項目に取り組み、19項目で計画を達成しました。

## 2010年度環境目標（環境マネジメントプログラム）の実績と評価

テーマ	No.	2010 年度目標	2010 年度実績	評価
環境配慮	1	飼料米の作付けを19ha・100tから57ha・340tに増し、米育ち産直さくらたまごへの飼料米配合を6%から10%に高め、循環型農業に貢献する。	飼料米の作付け面積65ha・300tの実績。食農体験研修実施。琵琶湖の水草の飼料化実験にも取り組む。環境保全型農業推進コンクールで特別賞を受賞。	○
	2	環境こだわり米・米育ちたまごの普及や、県内商品・産直品開発により、フードマイレージや環境保全に貢献する。	環境こだわり米、米育ち産直たまごの普及プロモーションを実施。ご飯シンポ・産直フェスタの開催。	○
	3	環境配慮商品の普及やリサイクルの啓発のために、広報誌などでの情報提供や、組合員・職員への学習を行う。	広報誌「スパイラル」で毎月リサイクル実績の案内や、リサイクルセンターの特集などの情報提供を行った。	○
	4	店舗で洗剤キャンペーンを6月と10月の2回実施します。	店舗で6月と10月に環境にやさしい洗剤をコーナー化して、普及キャンペーンを行った。	○
	5	年間を通して滋賀県の地産地消キャンペーン「おいしが・うれしが」の表示と、毎月第3土日曜にチラシでアピールする。	「おいしが・うれしが」の表示やコーナー化を継続して行いました。チラシには延べ115品目の掲載を行った。	○
	6	無店舗で環境に配慮した農産品の延べ企画数を2009年度比102.3%に増やす。	無店舗での環境配慮農産物の企画数は1,284品目で、天候の影響などで前年比91.0%と目標に達しなかった。	×
	7	共済申込書の不備率を5%以下に抑え、作業の効率化と資源の無駄削減を図る。	共済の学習・研修を継続して実施し、不備率4.97%と計画を達成した。	○
循環型社会の構築	8	店舗で前年度廃棄ロス率を上回らないよう管理する。	店舗の廃棄ロスは、0.90%で前年より0.06%改善された。	○
	9	電子帳票への移行で、ペーパーの伝票処理枚数は2009年度実績を維持する。	紙伝票の発行数は、前年比82.1%と削減することができた。	○
	10	お買い物袋持参の呼びかけと実績把握、実績の店頭掲示による啓発を行う。	店舗のお買い物袋持参率は、95.0%と昨年レベルを維持。また、実績を店頭に掲示し啓発を行った。	○
	11	インターネット注文利用者のOCR停止率を年度末に30%を目指す。	インターネット注文者のOCR停止率は、3月度75.4%（累計65.3%）と目標を大きく超過達成した。	○
	12	案内書発注利用率（利用人数÷発注部数）を08年度実績（70.5%）より1.5%高め72.0%を目指す。	案内書発行利用率は累計で74.1%と目標を達成し、発行部数管理と回収枚数（利用人数）アップを図ることができた。	○
	13	廃食用油回収の拠点を生協施設中心に増やす。	1事業所（愛知川C）が増えて4事業所となり、回収量は前年の約2倍に増え、拠点の認識が高まった。	○
	14	店舗の資源リサイクルをすすめるために、回収量や回収時の約束事などを店頭掲示や広報で情報提供する。	店舗での回収物（牛乳パック・PETボトル・トレー・PETボトルキャップ）の毎月の回収量と、注意事項などを店頭掲示した。	○
15	仕分け袋のマテリアルリサイクル（白袋）の比率を年間で70%以上になるようにする。	廃プラスチックのマテリアルリサイクル比率は68.7%で目標には達しなかった。	×	
16	最終的に焼却処理される廃棄物（事業系・食品系）を22,919kg以下に抑える。	目標修正を行った事業所があったが、焼却処理される廃棄物量は22,386kg（当初計画比97.7%）と計画以下となった。	○	
環境負荷の削減	17	BDF使用車両の共同購入配送車への導入を行い、効果や問題点の抽出を行う。	BDF5%給油車両は2事業所で合計29台に増やし、車両への問題なども発生しなかった。	○
	18	自責による荷下ろしミス発生率を減らし、走行距離を減らすことでエコドライブにつなげる。	無店舗の荷下ろしマニュアルの整備を行い、荷下ろしミスの発生率は、修正目標に対して95.4%と目標を達成した。	○
	19	地区事務局で使用する事務用紙を区分管理し、コープしが全体で年間53,993kg以下に抑える。	事務用紙使用量は41,066kg（計画比76.1%）で、大幅に削減が進んだ。	○
	20	電気使用量を年間4,332千KWh以下に抑える。	電気使用量は4,425千kwh（当初計画比102.1%）で、猛暑の影響を受け超過した。	×
	21	供給高1億円あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を、15.4トン/億円を目指す。	供給高当たりのCO <sub>2</sub> 排出量は14.58トン/億円と目標達成。ただし、総量で前年比104.7%と増加した。	○
エコライフの取り組み	22	1日エコライフは、8000人の参加を目標とし6月に実施する。みるエコおうちみは300家族の参加登録を目標に取り組む。	1日エコライフ不参加者6,847人（計画比85.6%）、みるエコおうちみ登録者90人（計画比30%）で計画を達成できなかった。	×
	23	エリアやコープ委員会、商品活動倶楽部に県内産や産直商品の良さを知らせる普及活動を行う。また、びわこを守る取り組みを行政や、地域のNPOと連携し行う。	・県内産牛・豚肉・産直こだわり米などの商品学習および試食・普及を各地域で実施。県内産品の開発に参加。 ・琵琶湖の魚調査、地域イベントへの出展、ヨシ刈り参加などを実施。	○



# 2010 年度環境会計 (期間:2010 年 3 月 21 日~2011 年 3 月 20 日)

環境保全活動の全体をコストと効果の観点で把握し、活動の効率化に役立てることを目的としています。

【環境保全コスト】全体コストは前年比 97.6%と減少しました。主な要因は、仕分け袋リサイクル率向上による再商品化コストの削減や、グリーン購入適合の基準見直しによる減少が上げられます。【経済的効果】は、リサイクル資源の売却先見直しや、資源価格上昇などの影響で大幅に増えましたが、環境配慮農産物は天候不順の影響などで、取扱品目が減少し売り上げ減少となりました。【環境保全効果】電気使用量は増加しましたが、全車両の走行距離は減少しました。資源循環では、生ゴミや廃プラのリサイクル量が減少していますが、分別などの強化による削減となっています。

## 【環境保全コスト】

コスト分類	環境保全活動	2010 年度実績(円)	2009 年度実績(円)	前年比	取り組み内容	
直接コスト	大気汚染防止コスト	低公害車の導入	6,698,200	4,527,600	147.9%	・LPG 車輛、ハイブリッド車輛のリース料
	公害防止コスト	浄化槽、グリストラップ管理	999,501	972,631	102.8%	・浄化槽、グリストラップ点検・清掃・汚泥処理費管理費用 ・高性能併浄化槽の減価償却費
	地球環境保全コスト	省エネ設備・高効率機器の導入	1,899,364	2,291,046	82.9%	・デマンドコントローラー、電圧調整器、ガスヒートポンプエアコン等の減価償却費
	廃棄物処理・リサイクルコスト	廃棄物抑制	6,785,837	7,445,425	91.1%	・生ゴミのリサイクル費用 ・リサイクル物圧縮機等の減価償却費
産業廃棄物		3,326,950	2,987,100	111.4%	・産業廃棄物処理・廃プラのサーマルリサイクル等	
	事業系一般廃棄物	3,651,575	3,767,471	96.9%	・廃棄物の適正処理	
		23,361,427	21,991,273	106.2%		
間接コスト	職員への環境教育等	172,424	142,069	121.4%	・環境教育用テキスト、ビデオ、研修会	
	環境マネジメントシステムの構築、運用、認証取得	873,994	1,156,987	75.5%	・ISO 審査費用、内部監査員養成、研修費用	
	グリーン購入	6,200,471	9,250,992	67.0%	・事務用品、コピー用紙のグリーン購入金額	
	環境対策組織の人的費等	21,383,566	20,159,477	106.1%	・環境部署の人的費、環境監査員活動費	
		28,630,455	30,709,525	93.2%		
商品コスト	容器包装・案内書等のリサイクル・回収再商品化	17,848,047	18,715,549	95.4%	・再商品化義務委託料 ・容器包装等のリサイクル(物流費、袋、啓発促進費)、有価物(チラシ、牛乳パック等)の回収費用	
		17,848,047	18,715,549	95.4%		
社会的取組コスト	組合員の環境活動の支援	514,325	535,478	96.0%	・環境学習活動支援、環境活動の資料・ツール作成・提供、等	
	団体等への支援、寄付、環境団体の会費	20,000	20,000	100.0%	・滋賀グリーン購入ネットワーク会費	
	環境情報提供のためのコスト	1,154,600	1,288,000	89.6%	・CSR レポートの作成・HP 掲載費用	
		1,688,925	1,843,478	91.6%		
総合計		71,528,854	73,259,825	97.6%		

## 【経済的効果】

	経済的効果額		前年比	備考
	2010 年度実績	2009 年度実績		
環境活動に伴う経済効果				
リサイクルにより得られた収入額 (円)	21,469,071	3,703,237	579.7%	案内書、仕分け袋、卵パック、牛乳パック等売却益 ※売却先見直しや、資源価格上昇により大幅増加
環境配慮商品の普及に伴う経済効果				
環境配慮商品 (農産品) の売上高 (円)	534,842,194	592,733,071	90.2%	・環境配慮農産品 (有機・特裁・こだわり農産物等) の売上額

## 【環境保全効果】

	2010 年度実績	2009 年度実績	増減	改善率	備考	
事業エリアでの環境負荷抑制効果						
地球環境保全	エネルギー使用量 (電気:kwh)	4,424,991	4,333,151	91.840	-2.1%	
	エネルギー使用量 (配送距離:km)	2,690,941	2,751,766	-60,825	2.2%	
資源循環	食品リサイクルによる削減量 (kg)	46,555	59,553	-12,998	21.8%	食品廃棄物のリサイクル量
	サーマルリサイクルによる削減量 (kg)	27,486	29,600	-2,114	7.1%	ラベル付き仕分け袋、梱包材等
組合員からの資源回収による環境負荷の抑制効果						
リサイクル回収量 (食品トレイ:kg)	3,880	4,646	-766	-16.5%		
リサイクル回収量 (ペットボトル:kg)	8,738	9,695	-957	-9.9%		
リサイクル回収量 (ペットボトルキャップ:kg)	663	593	70	11.8%		
リサイクル回収量 (牛乳パック:kg)	52,701	53,280	-579	-1.1%		
リサイクル回収量 (卵パック:kg)	23,330	22,592	738	3.3%		
リサイクル回収量 (商品案内書:kg)	2,168,400	2,023,880	144,520	7.1%	回収率: 68.8%→69.3%	
リサイクル回収量 (仕分け袋:kg)	36,694	33,517	3,177	9.5%	回収率: 36.4%→37.9%	
リサイクル回収量 (廃食油:L)	4,581	3,900	681	17.5%		

# 2011 年度環境目的目標

2011年度は、環境マネジメント方針の行動指針を具体化した2008年度からの環境3カ年計画を1年延長して、目標数値等を見直し以下のように取り組みをすすめます。

区分	目的	目標
環境配慮	コープしがが取り扱う商品とサービスの環境影響の把握に努め、環境への配慮を徹底します。また、組合員、役職員への環境意識の浸透を図ります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 飼料米の作付け面積を増やし、採卵鶏や県内外への利活用の対象を広げます。また琵琶湖の水草の有効活用など飼料の地産地消を推進し、フードマイレージの低減や、生物多様性に貢献します。</li> <li>② 組合員の商品学習会などにより環境配慮商品の利用拡大や、地産地消・産直商品普及拡大に取り組みます。</li> <li>③ 店舗で環境に優しい洗剤や住居関連品をくらし応援価格に設定して普及します。</li> <li>④ 店舗で年間を通して県内産品の案内「おいしが・うれしが」を行い、毎月第3土曜日のセールチラシでアピールします。</li> <li>⑤ 無店舗事業の県内農産品や県内産品の取り扱い品目を増やし、また環境こだわり米や無洗米の利用促進に取り組みます。</li> <li>⑥ 共済の学習や研修を継続して行い、共済申込書の不備率を削減することにより、作業の効率化や用紙の使用削減に取り組みます</li> </ol>
循環型社会の構築	廃棄物の削減、省資源、省エネルギー、資源リサイクルの仕組みを維持し、自然の物質・エネルギーリサイクルと調和した循環社会を目指します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 店舗生鮮部門での在庫状況を把握し、前年度廃棄ロス率を上回らないよう管理して、廃棄物削減に取り組みます。</li> <li>② レジ袋は引き続き有料とし、買い物袋持参率の店頭掲示などで、お買い物袋の持参を呼びかけて省資源化を進めます。</li> <li>③ インターネット注文利用者を増やすとともに、OCR注文書発行停止率 75%を目指し、省資源を進めます。</li> <li>④ 不要な案内書発行の削減と提出率アップの取り組みで、案内書発注利用率(利用人数÷発注部数)を75.5%に高めることを目指します。</li> <li>⑤ 無店舗事業センターや店舗などの生協施設で、組合員や職員からの廃食油回収をすすめます。</li> <li>⑥ 組合員からのリサイクル回収を継続し、回収率を高めるための情報提供を店頭掲示や広報で行います。また、地域のゴミ問題や資源問題について学ぶ活動を行います。</li> <li>⑦ 無店舗事業の仕分け袋リサイクル(マテリアルリサイクル)を推進し回収率40%以上を目指します。</li> <li>⑧ 組合員からの回収物や事業からの廃棄物を、資源として有効に活用することを目的に、リサイクルルートや分別方法などを再構築し、事業化を推進します。</li> </ol>
環境負荷の削減	排気ガスによる大気汚染や、限られた地下資源の浪費を防ぐため、アイドリングストップや省エネ運転に取り組み、環境負荷がより少ない車両や燃料の導入を図ります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① BDF5%給油車の増加と、BDF100%の導入に向けて、給油方法など具体的な課題の検討を進めます。</li> <li>② 無店舗事業では、担当者原因の誤配を削減する取り組みをすすめることにより、走行距離を減らし省エネに貢献します。</li> </ol>
エコライフの取り組み	琵琶湖が中心にある湖国滋賀の自然環境と人々のくらしを守るエコライフの取り組みを、地域の人たちと協力しあう組合員の「くらし見直し活動」を通して推進します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「滋賀県のCO<sub>2</sub>削減プログラム「みるエコおうみ」への参加者を増やしたり、家庭での省エネ診断に取り組み、環境に配慮したくらしへの見直し活動を進めます。</li> <li>② 琵琶湖を守る実践活動として「びわ湖の日」に各エリアで環境活動に取り組みます。また、滋賀県や環境NPO団体、地域行政との連帯した環境活動、環境イベントに積極的に参加します。</li> </ol>
二酸化炭素の排出削減	事業活動に伴うCO <sub>2</sub> の排出抑制を全国的に提案する日本生協連の呼びかけに応じて、コープしがの「自主行動計画」を策定し、削減に取り組みます。	2020年に向けた温室効果ガス排出量の総量30%削減計画を作成し、省エネ対策などを計画的に実行します。



# 安全・安心な商品をお届けする「無店舗事業」

# 毎日の暮らしを支える店舗事業

## 無店舗事業



無店舗事業は、県内全域に配置している10か所の無店舗事業センターから12万人の組合員宅へ毎週配達しています。

共同購入と個人別配達、組合員から前週に注文を受けた商品を、毎週決まった曜日・時間、指定された場所へ配達します。

■ **共同購入（グループ購入）** ○配達手数料・・・無料  
ご近所のお友達や、職場の仲間など3名以上で利用できます。

■ **ステーション購入** ○預かり手数料・・・無料  
地域ステーションは、クリーニング店や店舗などの指定場所に、決まった曜日に商品を取りに行くシステムです。全部の無店舗事業センターと店舗でも行っています。

■ **個配（個人配達）**  
ご自宅の玄関までお届けします。  
○配達手数料・・・180円～250円（利用額に応じて変動）

配達手数料について  
システム使用料としての「固定費 70円」と、利用額に応じて変動する「利用手数料」との合計が配達手数料となります。

システム使用料(固定)	利用手数料(変動)	配達手数料
70円	4,000円未満 180円	= 250円
	8,000円未満 160円	= 230円
	12,000円未満 130円	= 200円
	12,000円以上 110円	= 180円

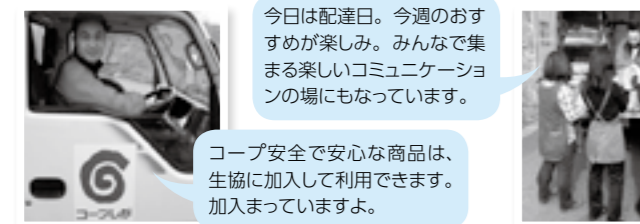
\*システム使用料としての「固定費 70円」は、商品配達が無い場合でも必要となります。

■ **ぬくもり割引（個配）**  
「子育て世代の方」「高齢者の方」「障がい者の方」に優しい制度です。

○配達手数料・・・180円（固定）

システム使用料	利用手数料	配達手数料
50円	130円	= 180円

\*システム使用料としての「固定費 50円」は、商品配達が無い場合でも必要となります。



注文方法 通常はOCR注文書や、電話注文センターへ電話して注文を行います。

☎0120-190-502  
月～金曜日 8:30～20:00 土曜日 8:30～11:00

インターネット注文  
自宅のパソコン・携帯から登録して、好きな時間に注文ができる、かんたん・べんりなシステムです。

<http://www.pak2.com/> で 検索



## 店舗事業



店舗事業は、生鮮品・惣菜から日用雑貨まで品揃えしたスーパーマーケットタイプのコープぜぜ（大津市）とコープ商品や産直商品中心に品揃えした小型のミニコープが野洲・草津・大津市に5店舗あります。暮らしの必需品を月間でお買い得価格に設定した「くらし応援」や曜日奉仕などを開催するほか、ファーマーズマーケットおうみんちの野菜など、県内産産物の普及にも取り組んでいます。

●コープぜぜ 第1土・日曜日 ポイント5倍 ●ミニコープ 第1.3土曜日 5%オフセール

### ポイントカード

ちょっとうれしいお買い物プレゼントとして「ポイントサービス」を実施しています。店舗ポイントカードは、お買い上げ金額200円ごとに1ポイント、200ポイントたまればポイント券1枚をお渡しします。ポイント券3枚で1,000円分のお買い物券としてご利用いただけるほか、グリーンスタンプのカタログ商品とも交換していただけます。

### 資源リサイクル

店舗ではペットボトル、ペットボトルキャップ、トレー、牛乳パックを回収して循環型社会を目指す取り組みをすすめています。また、マイバックの持参を呼びかけ、「買い物袋」を有料化し、全店舗で95%と非常に高い持参率となっています。



# 安心して暮らすための保障、くらしを楽しく豊かにする「サービス事業」

## 共済事業 もっとやさしいCO・OP共済へ

①加入がやさしい、②家計にやさしい  
③手続きがやさしい、④未来もやさしい  
CO・OP共済は「組合員どうしの助け合い」を形にした商品です。加入者みんなの掛金で万が一の病気や、事故が発生した加入者のお役立ちとなります。CO・OP共済は組合員の声をもとに商品の開発・改善を行っています。2011年9月より、組合員の強い要望で終身共済が新たに加わります。

	たすけあい	あいふらす	合計
2009年度	71,705	10,083	81,788
2010年度	73,863	11,743	85,606

	件数	支払金額
2009年度	14,820	529,482
2010年度	14,997	559,389

## こんな声を、頂いています

普段の生活の中で、病気やケガをする事を真剣に考える機会も少なく、パンフレットを見て掛金も安かったので加入しました。いざ、ケガをしてみると本当に加入しておいて良かったと実感しています。治療費や交通費など入院や通院で思った以上の出費がかかるので本当に助かりました。請求してから振り込まれるまでの速さや親切な電話対応などありがとうございます。

遠方で下宿する息子がケガで手術をしました。松葉杖で大学まではタクシー通学。かなりの出費となりました。しかしCO・OP共済で費用をまかなうことができ、とても助かりました。電話での対応も丁寧で、手続きもとても簡単。何より支払までの速さには驚きました。本当にありがとうございました。

ケガをしてから数ヶ月後にふとCO・OP共済を思い出して電話をし、再び数ヶ月間請求書類を提出しおいてもらい、生協からお知らせのハガキが届きました。書類の書き方や説明も分かりやすく、大変助かりました。何よりハガキで未請求の件を知らせてもらえることが一番良かったと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

## サービス事業 くらしを便利に・快適にするサービスを取り扱っています

### ■ レンタルモップ

2009年7月からレンタルモップの取り扱いを始めました。何度も洗濯して使用するリユース商品のため環境に優しく、生協の配達時にお届け・回収することで低価格を実現しており、生協組合員のみで流通する仕組みのため、一般で流通しているモップが混じりません。手作業で検品するシステムも生協独自のものです。



### ■ チケット

ご家族で楽しんでいただける遊園地、テーマパークから県内外の様々なコンサート、美術館のチケットを企画しています。生協のチケットはご自宅で簡単にご注文できます。



### ■ ハウジング

新築、リフォーム、内装、外装、白あり、お庭の管理など家に関するご質問は生協にご相談下さい。専門の生協提携店が親切、丁寧にお応えし、安心して任せいただける責任施工と優れた技術により、価値ある住まいを提供いたします。



### ■ 車検

車検指定整備工場県内10社とコープ車検の事業提携を2009年11月から開始しました。マイカーを良好な状態で長く乗り続けることにより、二酸化炭素排出の軽減に寄与するとともに、車輛製造から廃棄までのサイクルを少しでも延長できることを期待して開発しました。



# 「コープしが職員像」の実践

## コープしがでは、すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げています。

すべての職員のあるべき姿を「コープしが職員像」として掲げ、「三つの心得」と「行動綱領五箇条」を常に意識し、コープしが職員としての自覚を持ち、業務を行っています。

事業を通じて組合員のくらしへのお役立ちを、コープしが職員の「やりがい」や「働きがい」と感じられることをめざしています。



## 組合員のくらしのお役立ちのため、多様な雇用形態の中で約820名が働いています。

約300名の正規職員と約520名の嘱託・パート・アルバイト職員が働いており、特に組合員宅へ商品を配達する共同購入の「組合員担当者」の約40%はパート職員が担っています。

店舗では全職員の95%以上が嘱託・パート・アルバイト職員によって運営されており、うち店長職4名、副店長職5名、チーフ職5名が役職を持って働いています。またこの5年間で8名が嘱託・パートから正規職員へ登用されています。

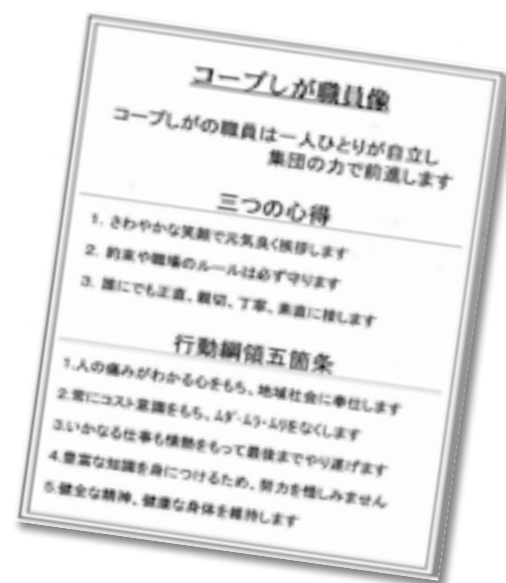
## 正規職員は人事諸制度を活用し、能力開発とキャリア開発をすすめています。

人材育成を第1の目的として人事諸制度を活用しています。「目標設定、中間、評価」の年3回、上司と面接を行い、成果や課題の確認、態度や能力といった仕事のプロセスも評価し、昇級や賃金への反映などを行っています。また自己申告書によりキャリアや希望職種の申告も行います。

教育制度は、採用時、振り返り、中堅職員、管理者などの階層別、役職別の研修のほかに、各職務上で必要な知識や技能を習得するための目的別の研修を実施しています。また、自己のキャリア開発への気づきを促すためのキャリア教育や「資格取得奨励、自主研修活動支援、通信教育援助金」などの各制度を活かし、職員が自己能力開発に取り組んでいます。

## 働く意欲を持つ定年退職者の再雇用制度

改正高齢者雇用安定法の施行を受けて、60歳で定年退職する正規職員を対象に「職員定年後再雇用規程」を設け、本人の勤務時間の希望などに応じて、正規職員または定時職員として再雇用します。2006年3月から2010年3月までに8名を正規職員として再雇用しています。



定時職員・アルバイト職員研修



振り返り研修

## オレンジリボンキャンペーンに職員全員が参加しています。

2008年から引き続き、正規職員からアルバイト職員まで全員が「オレンジリボン」を着用し、児童虐待防止を訴えています。



オレンジリボンキャンペーン (11月)

# 働きがいのある職場づくり

## 人の能力や適性に配慮した障がい者雇用

事業所の障がい者雇用率や定着率などを基本に、障がい者を積極的に雇用していることを評価され、平成19年度障がい者雇用優良事業所に選ばれました。

障がい者個々の個性や能力が仕事とマッチできることを職場の中で配慮しています。2010年度末の障がい者雇用率は2.68%で、法定雇用率1.8%を上回っています。



平成19年度障がい者雇用優良事業所表彰

## 誰もが安全で安心して働ける職場環境の実現

労務担当役員を委員長とし、職場の代表をメンバーとする「中央労働安全衛生委員会」と、職場単位での「職場労働安全衛生委員会」を設け、労働災害発生防止のための職場点検活動や健康増進に関する啓発活動に取り組んでいます。

また、現場業務に従事する職員の腰痛対策として「腰痛体操」「腰痛検診」などに取り組んでいます。

セクハラ、パワハラに関して「ハラスメントに関する基本方針」を掲げ、ハラスメント行為防止の啓発活動や、万一発生した場合の「ヘルプライン相談窓口」でコンプライアンスも含めた対応を行います。

メンタルヘルスについては、「メンタルヘルス相談窓口」を設置し、産業医、外部医療機関などと連携をしてすすめています。



腰痛体操の講習会



腰痛体操をしてから出発

労災事故件数 (件) (スリキズなどの小さなケガもカウントしています)

年度	上期	下期	年計
2007年度	21	30	51
2008年度	17	30	47
2009年度	10	15	25
2010年度	15	18	33

ヘルプライン対応状況 (件)

2005年度	5	2008年度	9
2006年度	9	2009年度	6
2007年度	8	2010年度	4

内容は、ほとんどが職場の人間関係や上司への不満等で、重要な不法行為等の通報はありません。

## 役職員相互の親睦や相互扶助、福利厚生を目的とした互助会制度

福利厚生の増進と相互の親睦、よりよい人間関係を形成するための互助会制度があります。厚生旅行やサークル活動などへの援助、忘年会・新年会・歓送迎会の補助、慶弔見舞金の支給、その他、文化・健康増進企画の補助などを行っています。



コープしが野球チーム「ドリームス」



ソフトバレーボール大会

ソフトバレーボール大会

## 素直に感謝しあう職場風土づくり

コープしがの職員がとった行動の中で、組合員や地域の方が「良かった」と感じていただけた仕事や行動の事例を集め、組織内で共有し承認する「感謝・感動の事例共有と承認する仕組み」に取り組んでいます。個人のモラル向上や仕事のレベルアップを図り、職員間で素直に感謝の気持ちを伝えあうこと、感謝することの連鎖を引き出し、職場や組織の活性化につなげること、風土づくりを目的としてこの制度を運用しています。

## 働きやすい職場づくりを労働組合とともに

労働組合は、正規職員・パート職員に関して、ユニオンショップの形態をとり、コープしがでは、労働者のこころと体の健康や権利を守り、民主的な職場運営を発展・継続させていくため、労働組合との協力関係を築いています。



# コープしがの事業所・事務所及び子会社の紹介

## 本部・事務所・その他施設

本部・野洲事務所 野洲市富波甲 972 TEL 077-586-1112 (代表)  
 生協会館 大津市竜が丘 1-1 TEL 077-511-2961  
 青果産直センター 栗東市荒張 1419-1 TEL 077-559-2010  
 リサイクルセンター 近江八幡市西生来 1845-4 TEL 0748-38-8688  
 福祉ネットワークセンターゆめふうせん 大津市真野 5-33-25 TEL 077-571-1560  
 草津事務所 草津市西草津 2丁目 1-1 TEL 077-565-9394

## 無店舗事業センター

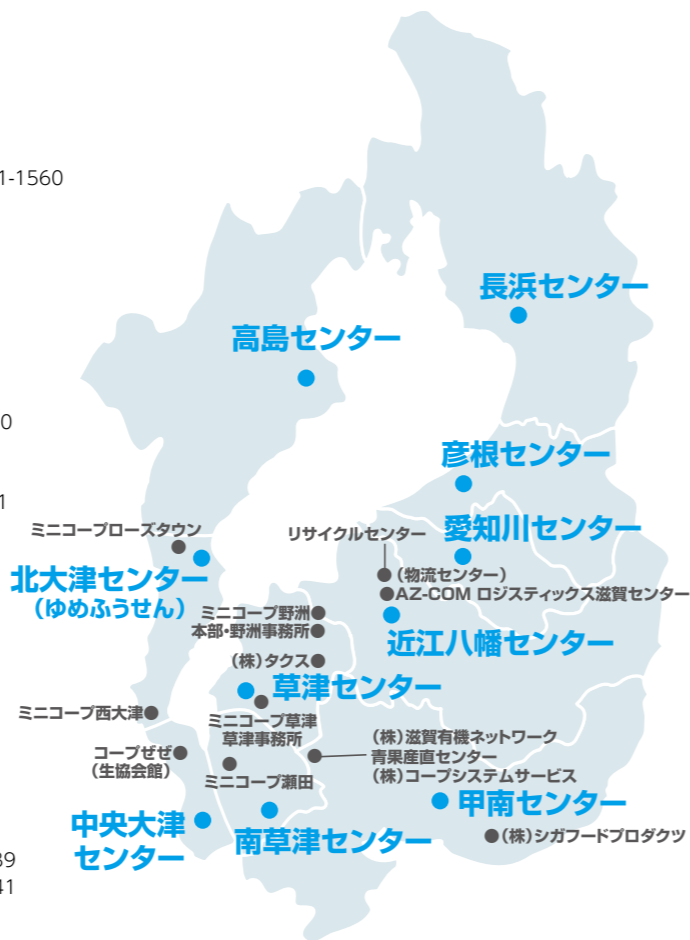
南草津センター 草津市笠山 5丁目 3-50 TEL 077-565-0770  
 北大津センター 大津市真野 5-33-25 TEL 077-571-1550  
 草津センター 草津市上寺町可措 281-1 TEL 077-568-1671  
 中央大津センター 大津市国分 2-226-22 TEL 077-531-0970  
 甲南センター 甲賀市甲南町市原 303-6 TEL 0748-86-6977  
 近江八幡センター 近江八幡市馬淵町落合 437-1 TEL 0748-37-4110  
 愛知川センター 愛知郡愛荘町愛知川 1050 TEL 0749-42-4445  
 長浜センター 長浜市西上坂町 1020-1 TEL 0749-63-0851  
 彦根センター 彦根市竹ヶ鼻町四反地 224-1 TEL 0749-30-3371  
 高島センター 高島市新旭町新庄 799 TEL 0740-25-5888

## 店舗

コープゼゼ 大津市竜が丘 1-1 TEL 077-522-5111  
 ミニコープローズタウン 大津市朝日 1丁目 15-1 TEL 077-594-3721  
 コープ西大津 大津市柳川 2丁目 11-25 TEL 077-523-5090  
 ミニコープ瀬田 大津市一里山 2丁目 1-23 TEL 077-545-6465  
 ミニコープ草津 草津市西草津 2丁目 1-1 TEL 077-565-9394  
 ミニコープ野洲 野洲市富波甲 963-1 TEL 077-587-6578

## 子会社

株式会社タクス 野洲市富波甲 977 TEL 077-588-5715  
 株式会社コープシステムサービス 栗東市荒張 1420-1 TEL 077-559-2239  
 株式会社シガフードプロダクツ 甲賀市甲南町市庄 330 TEL 0748-86-0641  
 株式会社滋賀有機ネットワーク 栗東市荒張 1420-1 TEL 077-558-2211



# コープしがの子会社

コープしがの子会社は、組合員の多様なくらし全般のニーズに応え、法規制等により生協で事業が制限されている分野、また農産物生産者との協同会社や牛豚・青果物の加工会社など専門的に事業化している分野を担っています。

また「コープしが子会社グループ経営指針」をもとに「グループ会社管理規程」を策定し管理運営を行っており、各代表取締役はコープしが常勤理事が兼務し、出資額または保有株式額の範囲で経営責任を持ち、グループ全体の経営会議を開催し、グループ・コーポレートガバナンスに責任をもって運営しています。



	(株)タクス	(株)コープシステムサービス	(株)シガフードプロダクツ	(株)滋賀有機ネットワーク
設立年月	1995年9月	1995年11月	1993年4月	1994年12月
代表取締役	白石一夫	小杉元彦	千葉正司	濱田和夫
資本金総額 (コープしが出資額)	15,000千円 10,000千円	30,000千円 20,000千円	95,000千円 48,000千円	10,000千円 4,000千円
コープしが持株比率	66.7%	66.7%	50.5%	40.0%
2010年度売上高	72,799千円	491,991千円	1,234,134千円	595,354千円
経常利益	▲927千円	21,422千円	17,911千円	4,362千円
事業内容	損害保険・生命保険代理店、 旅行業、宅地建物取引業、 各種斡旋事業	倉庫・保管庫の管理業、物流 センター管理運営業、物流資 材等の販売業	牛肉・豚肉の食肉パック加工 事業、パック加工済商品販売 業、畜産加工品の販売業	穀類・野菜類及び果樹類の生 産・加工・販売業、農作業及 び農業経営の受託事業、等
	組合員の暮らし全般をサポート するために、生協では扱え ない事業分野での事業展開 を図る。	物流に関する専門的なノウハウ を導入し、適切な物流管理 の遂行及びコープしがの物流 費用のコントロールする	精肉の生産、流通及び加工 までを一元管理し、安全・安 心・良質な肉を適正な価格で 安定供給する。	県内での産直有機農産物の 産地づくりの推進と農産物の 流通拠点を確立する。

※各社の売上高及び経常利益は、最終確定前の決算数値です

# コープしがのあゆみと環境活動年譜

大津生協のあゆみ10年史(発行1983年)	大津生協「商品のしおり」	湖南消費生活協同組合設立(4月) 大津生活協同組合設立(7月)	1972	
			1973	●びわこ汚染防止対策を自治体へ要請
		山東消費生活協同組合設立(後の滋賀県北部生活協同組合)	1976	●空きビンのリサイクル運動
			1977	●琵琶湖に初めて大規模な赤潮が発生 ●廃食油(家庭用)回収運動を県内で展開
		滋賀県東部生活協同組合設立	1979	●家庭の合成洗剤を粉石けんに交換引取運動
大津生協合併総会		滋賀県生活協同組合連合会設立(6月)	1981	
	第1回コープしが総代会(1993年5月)		1983	大津生協瀬田店で買い物袋持参運動スタート(レジ袋有料化5円)
			1987	●抱きしめてBIWAKO開催(25万人参加)
			1988	●よみがえれ琵琶湖署名運動(34万筆)
			1991	●滋賀県環境生活協同組合設立(現:碧いびわ湖)
合併総会議事録(1993年)		生活協同組合コープしが発足(4生協合併) (株)シガフードプロダクツ設立(食肉加工)	1993	コープしが環境元年を発表 シルヴィコープ彦根店にソーラー発電システムを設置 買い物袋持参運動(レジ袋有料化5円)を全店舗で展開
		たすけあい共済事業スタート (有)滋賀有機ネットワーク設立(青果)	1994	LPG配送車輛の導入
		県内農産物の発展協力に関する協同組合間提携協定締結 (株)タクス設立(保険・サービス事業) (株)コープシステムサービス設立(物流管理)	1995	環境憲章を制定 コープしが独自の環境マネジメント・スタート
		青果産直センター開設	1996	
		個配事業の県内全域展開をスタート	1999	ISO14001認証を取得
			2000	環境マネジメントセンター開設(現リサイクルセンター)
協同組合間提携協定調印式		ホームページ「ばくばくファミリー」を開設 滋賀県の農産物発展協力に関する協定締結 ステーション購入スタート	2001	大津市と環境保全協定を締結
		インターネット注文スタート 共同購入個人別集品スタート 産直牛のトレーサビリティ開始(店舗)	2002	ISO14001認証を更新
		福祉情報電話開設 コープしが発足10周年記念式典 「生活協同組合連合会コープきんき事業連合」設立・加盟	2003	
			2004	ゼロエミッションを定義 全店舗、共同購入センターで事業系生ゴミのリサイクルをスタート
		ささえあいサポート事業スタート コンプライアンス宣言	2005	ISO14001認証を更新
		くらしささえあいサポート事業スタート 福祉ネットワークセンター・ゆめふうせん開設 コープきんきとの共同企画スタート	2006	発電設備内蔵型ガスヒートポンプを導入(北大津センター)
コープしがの10年史(発行2003年)		共同購入・個配のポイント制スタート 商品原材料情報システムスタート	2007	廃食油をバイオディーゼル燃料(BDF)に再資源化 環境事業積立金
		生協法改正 日本コープ共済生活協同組合連合会発足 個人配達手数料「ぬくもり割引制度」スタート 組合員コールセンタースタート コープしが発足15周年記念事業 くらしのサービス事業スタート	2008	ISO14001認証を更新 環境マネジメント方針の改定 環境事業積立金
		高齢者対応個配サービススタート コープきんき「組合員の声」「商品苦情システム」スタート 滋賀県飼料米利活用推進における協定締結	2009	環境事業積立金
		全国環境保全型農業コンクールで特別賞受賞	2010	環境事業積立金 「コープしがびわ湖の日(9月第1土曜)」をスタート BDF5%燃料を2事業所28台に導入

●は、行政・他団体と一緒に取り組んだ活動



生活協同組合コープしが

<http://www.pak2.com>

#### プロフィール

理 事 長 / 西山 実

所 在 地 / 〒520-2351 滋賀県野洲市富波甲972番地

設 立 / 1993年3月21日

(滋賀県内の4つの地域生協が合併して誕生)

事業活動エリア / 滋賀県全域

事 業 所 / 共同購入センター10 店舗6

本部他事務所4 子会社4

